

## NSK会員交流のための『名古屋街づくり講演会』の報告

平成 31 年 2 月 18 日  
企画・研修委員会合同  
代表理事 西井 信幸

NSKの建築作品展をセントラルギャラリーで開催している期間に、その近くのアネックスビル 12 階、銀座アスターにて会員交流のための『名古屋街づくり講演会』を開催した。食事つきの為会費は 5000 円であったが、会員 35 名・会員外 6 名（講師 2 名、スポンサー 2 名を含む）の合計 41 名（講演会は 42 名）で当初の予想人数を上回り、盛況な会となった。特に会員交流会ということで代表理事が会員全ての 41 社に電話連絡をして参加をお願いしたことで、出欠はともかくその返事だけでも十分交流が出来たと思っている。

街づくり講演会はまず、名古屋学院大学 現代社会学部長の井澤知且氏の『名古屋の発展・5つのエポック』では名古屋の歴史的な街の成り立ちを解説して頂き、これからの街づくりに歴史的な視点が加わった。

一方、名古屋市議員の小出昭司氏の『名古屋の戦略的街づくり』では、現在の名古屋の街づくりにおけるホットな資料、特に名駅リニア関係、栄関係、更に都心部の容積率アップとの再開発の方法など日頃目にすることの出来ない資料や新しい街づくりのニュースも頂き、これからの名古屋の街づくりに欠かせない視点を与えて貰った。

最後に私から、私の事務所の所在地である久屋大通再整備計画の特に北エリアについて説明し、その問題点 ―現況の 2/3 以上の樹木の伐採や、イベントを含む芝生広場の運営管理や指定管理者の役割等― を指摘した。そして街づくりが成功した例（大須）と失敗した例（オズモール）を挙げ、地域の住人との関わり方が問題であると説明した。会場からは現在の街づくりにいくつかの質問と課題が出て、講演者との質疑応答が行われた。この講演会後の第 2 部はスポンサーの坪井氏の挨拶の後、副代表の小田氏の乾杯の音頭で始まった。会の途中で今年のツキ男を選ぶジャンケン大会を行い、最後に副代表の伊井氏の一本締めで盛況のうちに終了した。

